続けられる？ 仕事につながる？

50代から学ぶ前に

社会経験を積んだプレミアム世代だから、人生の充実のために学びたいことがあります。何から始めたらいいのか？ プロにアドバイスをいただきました。

外国人や子ども向けの日本伝統文化指導者や日本語教師に注目です。

資格や検定がある分野で、ヒューマンアカデミーで人気なのは、主に外国人に教える日本語教師、外国人や子どもに教える日本伝統文化指導者、育児経験が生かせるチャイルドマインダーなど（左表参照）。

「これらは需要が多く、資格を持つ人が少ない新しい科目。介護系も問い合わせは多いのですが、向き不向きがはっきりしているので慎重に検討してください」（大林さん）

一方、朝日カルチャーセンターではビアカウンセラーが注目されている。

「介護施設や病院で患者さんなどの相談相手になる資格で、今後、需要がもっと増えるでしょう」（長澤さん）

50代に働くチャンスが多い資格

日本伝統文化指導者	外国人や子どもに伝統文化を教える資格。日本伝統文化指導者認定委員会主催の認定試験がある。合格後、学校を開いたり、自治体で教えるチャンスが生まれる。
日本語教師	国内外の日本語学校で、外国人や外国に住む日本人に正しい日本語と日本の文化伝統を教える仕事。一年に1度日本語教育能力検定試験がある。
チャイルドマインダー	乳幼児から学童期の子どもの成長をサポートする。自宅開業、企業内保育などがある。現状では、各民間団体やNPO法人独自の資格制度となっている。
パソコン講師	全国のパソコン教室や自治体主催のパソコン教室が増加。シニアには、シニアの講師が求められている。資格はマイクロソフトなどが独自で設けている。

通信教育でもスキルは身につくのでしょうか？

意志が強ければ大丈夫。でも、仲間がいたほうが頑張れるかも。

通信教育でのスキルアップは、本人の意志の強さ次第。

「語学で、例えば洋書を原文で読むならば、通信でも十分。でも、きれいな発音でのコミュニケーションには、通学をお勧めします。教室で失敗したり仲間の失敗を見るのも勉強になるからです」（鈴木久美子さん）

「通信の場合で、最も難しいのは、一人で学び続けなくてはいけないことでしょう。日仏学院の通信では、気持ちが折れないように電話やネットでサポートしています」（津田さん）

「意志が強ければ通信でもスキルアップできます。ただし、通学にはプラスαがある。仲間と刺激し合うことでモチベーションが上がり、視野も広がって柔軟な思考が持てるようになれます」（足立さん）

「カラーコーディネーター」「野菜ソムリエ」「フラワーデザイナー」などは、仕事として需要はありますか？

経済的自立が目的ならばほかのテーマにしましょう。

女性に人気の資格の定番、カラーコーディネーターやフラワーデザイナー、そして料理好きの間でここ数年人気がある野菜ソムリエなどは、生活を支えるほどの仕事は難しいが、働く場がなくはない。

「色やお花の仕事は、ブライダル会場やホテルなどでも需要はあるようです。野菜ソムリエもそれだけで経済的に自立するのは大変ですが、すでに調理現場や食のジャーナリストなど、食関係で働く方には役立つでしょう」（大林さん）

「自治体が運営する講座や物産館のような施設の行事で、臨時に働く機会はあるかもしれません」（足立さん）

「3つとも女性には大人気ですが、ほとんどの方は趣味の域です。経済的自立ならば、ほかの分野での学びをお勧めします」（長澤さん）

プレミアム世代が学んでいる大学はありますか？

社会人枠はかなりの大学にありますが、まずはキャンパスを見学してみましょう。

少子高齢化の現在、多くの大学に社会人枠がある。また、上智大学や慶應義塾大学の社会人向け語学講座も長く続いている人気のコース。仕事の後でも通えるように都心部にサテライトキャンパスを設けている大学も多い。そんな中でも特にプレミアム世代向けなのが、入学資格が50歳以上、今年で3年目を迎えた立教セカンドステージ大学だ。

「再び学び直すことがテーマなので、サテライトキャンパスではなく、大学生と同じ広い敷地で1年間勉強しています。キリスト教の学校なので、入学式と修了式は学内のチャペルで行い、クリスマスパーティーもあり、夏にはゼミ合宿にも出かけます。図書館や学食などの施設も一般学生と同様に利用していただけます」（足立さん）